

ひろしまの文化



第18号

広島県文化団体連合会

新世紀と県文連



広島県文化団体連合会

会長 国利 義勇

1 国民文化祭が終わった

11月3日は快晴であった。広島市民球場のスタンドは約3万人の人で埋まり、秋空には銀色の飛行機が光っていた。皇太子同妃両殿下をお迎えしてのオープニング記念イベントは、秋田竿燈、長崎くんち、三原やっさ踊りなどが登場し、地元と全国との心が解けあった。また、イメージソング「未来の風」2千人の大合唱は、国民文化祭の香り高い開幕にふさわしいものであった。その夕べ、広島県立総合体育館での開会式は皇太子殿下の清新な御挨拶に感動した。光りと音楽の舞台もみごとな構成であった。

以後、全期間は好天気にもまれ、3万人の出演者と150万人の参加者など予期した以上の高い成果を得た。海外の県人会の招待者も「ふなさとの誇り」と私に語った。国民文化祭のテーマであった「広がる生命 輝く未来」は見事に結実し、日本文化への寄与となった。

2 国民文化祭を支えた県文連

県文連は早くから県民文化祭を重ねてきた。その実績の上に平成7年の総会で国民文化祭の成功に向けての協力を決議した。幸いに本県の文化政策「文化交流拠点・広島」と県当局の熱意によって、国民文化祭の広島県誘致が実現したのである。「国民文化祭準備室」から「同事務局」へと体制は進み、平成9年に第15回国民文化祭広島県実行委員会が設立し県文連もその実行委員会へ参画した。また、県内各開催地でも地元文化団体は運営に加わり推進するなど、県内各地に国民文化祭の機がはためき県民の意識が高揚した。また、特筆すべきは、かねてから県内各分野別文化団体の結成を願っていたが、芸能部門、文芸部門、音楽部門などで結成され、その協力を得たことである。或県の文化団体連合会会長は言った。「これほどの国民文化祭ができる広島県の底力を膚に感じた」と。

3 輝く未来と県文連のあり方

福山での閉会式イベントは、また感動的だった。リーデンローズの夕景は美しかったし、会場は熱気に満ちていた。展開されたステージはまことに20世紀を送るにふさわしいもので、第15回国民文化祭に別れを惜しみながら次の群馬県へ大会旗がわたされた。輝く未来への感激であった。

記念すべき国民文化祭は終わった。これから、県文連は何をめざし、それをどのように展開していくか。今回の国民文化祭は成果を得て終わったが、これを一過性に終わらせてはならない。これを機会に文化の本質や郷土から創り出す文化について論議を重ねたい。科学技術は進み、便利と豊かさは増すが、とかく個の独立と病める文明を作らないか。「文明の戦争」を説く論者も

いる。ことばとして「輝く未来」は美しい。しかし、個人的自由主義は、ときに社会を損う。現代社会の危惧など、現象として表れている。

我々は、個を同円異中心的社会構造におく。個の芸術、文化活動は、サークル活動となりその他の文化となる。真性の文化は人間社会の華である。花の美、海景の美への感動は芸術の心であり、道徳的心情と相通じるものがあるとしたのはカントであった。真の文化の機能は、共同社会の紐帯でなくてはならない。そこに未来がある。

4 県文連今後の課題

国民文化祭は一つの峠であった。ときあたかも県文連発足20周年に当る。これを契機に飛躍と前進をしなければならぬ。次のことが考えられる。

- ① 県文化団体協議会をもつ。せっかく盛り上がった県内各種文化団体と常に協調する。
- ② 県民文化祭の充実を図る。従来の芸能部門の域を拡げて、文芸その他を加えて真に県民文化祭らしく充実する。
- ③ 県文化協会を結成する。県民文化祭の実績を積み、県文連を中心に分野別組織との一体化は可能である。
- ④ 県文連の法人化を実現する。真に創造的な活動をするには、独立の事務局を持つことが必要である。
- ⑤ 文化振興基金を持つ。活動には資金がなくてはならない。現に他県においては億単位の基金を持つところがある。
- ⑥ 中国地区連絡協議会を作る。地方の時代である。近隣県との交流の大切さ。やがて瀬戸内海を挟んで四国地方とも連絡ができればよい。
- ⑦ 全日本文化団体連合会へ協力する。新世紀には日本文化と世界文化が交流されるであろう。

何はともあれ、第15回国民文化祭・ひろしま2000の開催は本会を勇気づけた。結成20周年を記念して一層の発展を期したいと思う。

も く じ

新世紀と県文連	1	・ 東広島市文化協会	
広島県文化団体連合会 会長 国利義勇		・ 庄原市文化協会	
県文連設立20年のあゆみ	3	・ 戸河内町文化協会	
第20回文化講演会	5	・ 福山文化連盟	
平成12年度理事会開催	6	市町村だより	9
第11回(平成12年度)県民文化祭地区大会日程	6	・ 三次文化連盟	
平成12年度後援事業	6	・ 河内町文化協会	
第15回国民文化祭・ひろしま2000開催状況	7	広島県地域文化功労者表彰	10
・ 呉市文化団体連合会		広島県文化団体連合会構成団体一覧表	11
・ 大竹市文化協会		役員一覧	11
・ 大和町文化団体連合会		編集後記	11
・ 世羅町文化協会			

— 表表紙 — 「第15回国民文化祭・ひろしま2000オープニング記念イベント」の写真
題字 故仁井岡武司元会長の揮毫

県文連設立20年のあゆみ

1 あゆみ

- 昭和56年 2月20日 …… 設立総会を新八丁掘会館で開催 加入団体27団体が参加し、会長に呉市文化団体連合会の故仁井岡武司さんが就任
- 6月27日 …… 「ひろしまの文化」創刊号の発行
- 10月 7日 …… 「第1回文化問題シンポジウム・文化講演会」を尾道市で開催
- 昭和57年 9月 …… 「第1回小論文」の募集
- 昭和61年 11月 …… 故仁井岡武司会長が地域文化功労者表彰を文部大臣より受賞
- 平成 3年 2月 …… 設立10周年 加入団体66団体となる
- 9月 …… 設立10周年を記念して「第1回県民文化祭」を開催
- 平成 5年 5月19日 …… 役員改選 会長におおの文化協会の谷口芳松さんが就任
- 平成 6年 1月30日 …… 三次市で冬期備北文化探訪会の開催
- 平成 6年 12月 1日 …… 全日本文化団体連合会加入
- 平成 7年 3月 …… 広島県文化団体連合会文芸大会（川柳、俳句）の開催
- 6月14日 …… 役員改選 会長に庄原市文化協会の国利義勇さんが就任
- 平成 7年 6月14日 …… 第15回国民文化祭・ひろしま2000の開催に関する決議
- 平成 8年 4月12日 …… 全日本文化団体連合会の副会長に国利義勇会長が就任
- 平成12年 11月 …… 設立20周年 第15回国民文化祭・ひろしま2000の共催 加入団体78団体となる
- 平成13年 2月15日 …… 国利義勇会長が広島県地域文化功労者表彰を広島県知事より受賞

2 設立の目的

県内文化団体相互の連絡協調を図るとともに、行政機関との連絡を密にして、地域文化の振興に寄与することを目的とする。

3 事業の内容

文化団体相互の連絡協調

機関誌「ひろしまの文化」の刊行
第1号～第18号

文化問題シンポジウム・文化講演会の実施
第1回～第20回

文化研究会講師招へい助成事業
年間平均25件実施

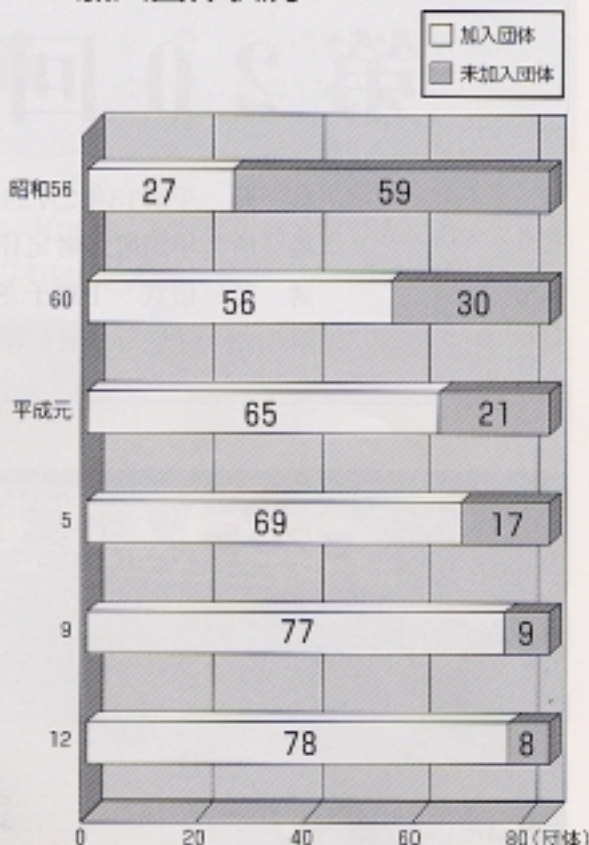
各種文化行事の共催又は後援
年間平均10件

県民文化祭の共催、運営協力
第1回～第9回

4 歴代役員

	氏名	出身団体	期間
顧問	谷口 芳松	おおの文化協会	H7年度～現在に至る
会長	仁井岡武司	呉市文化団体連合会	S56年度～H4年度
	谷口 芳松	おおの文化協会	H5年度～6年度
	国利 義勇	庄原市文化協会	H7年度～現在に至る
副会長	尾崎平八郎	三次文化連盟	S56年度～S57年度
	国利 義勇	庄原市文化協会	S58年度～H6年度
	阿川 壽明	三次文化連盟	H7年度～現在に至る
	荒木 計三	福山文化連盟	S56年度～H2年度
	藤井軍三郎	福山文化連盟	H3年度～H9年度
	稲葉 勘一	福山文化連盟	H10年度～H11年度
	平井 隆夫	福山文化連盟	H12年度～現在に至る
	西谷 宏	東広島市文化協会	H5年度～現在に至る

5 加入団体状況



7 文化講演会の開催状況

回数	開催日	開催場所	演題	講師
第1回	昭和56年10月7日(水)	浄土寺研修道場	環境と文化	木原啓吉(千葉大学教授)
第2回	昭和57年11月17日(水)	吉田町中央公民館	環境と地域文化	荒木博之(広島大学総合科学部教授)
第3回	昭和58年11月10日(木)	大野町体育館	だれもバラバラの世界から微笑みの共有の世界へ	切明悟(教育評論家)
第4回	昭和59年11月14日(水)	(双)三和町山村開発センター	高齢化社会と文化～高齢者の役割～	岡東寿隆(広島大学助教授)
第5回	昭和60年11月8日(金)	三原リージョンプラザ	国際化時代における地域文化の役割	平田嘉三(広島大学教育学部教授)
第6回	昭和61年11月20日(木)	熊野町民会館	親子で創ろう家庭の文化	森耕(広島大学教育学部教授)
第7回	昭和62年11月20日(水)	東城町老人福祉センター	暮らしの中の詩とメルヘン	やなせたかし
第8回	昭和63年11月5日(土)	加計町民体育館	不思議な国・日本～その文化とコミュニティ～	ハルベン・ジャック (昭和女子大学近代文化研究所講師)
第9回	平成元年10月27日(金)	宮島観光会館	わたしの野球人生	衣笠祥雄(野球評論家)
第10回	平成3年3月22日(金)	本郷町中央公民館	外国人から見た日本人～おもしろ英会話と日本文化	アントン・ウィッキー(ベルリン貴族博士)
第11回	平成4年3月16日(月)	安浦中学校体育館	自然と生活文化	若林正人 (ニュースステーションリポーター)
第12回	平成5年3月19日(金)	向中学校体育館	歌手生活50年～日本の心いつまでも～	川田正子(森の木児童合唱団主宰)
第13回	平成6年1月29日(土)	三次市文化会館	地域とそのふれあい	金子辰雄(元NHKアナウンサー)
第14回	平成7年3月21日(祝)	世羅西町商工会館	私の米づくりと文化活動	山下惣一(日本農民文学館会員)
第15回	平成8年3月16日(土)	府中市文化センター	耐えて勝つ	古葉竹雄(野球評論家)
第16回	平成9年3月20日(祝)	ジミー・カーターシビックセンター	中山間地域と文化について	岩谷三四郎(広島県立大学教授)
第17回	平成9年9月28日(日)	三原リージョンプラザ	異文化を超えて	小川久志(ROCKアナウンサー)
第18回	平成10年12月1日(火)	三良坂町中央公民館	まちづくりのかきは文化～人と人とのむすびつき～	木津川計(自治体大学教授)
第19回	平成12年2月26日(土)	府中市文化センター	八方のちょっとしたおはなし	月亭八方(落語家)
第20回	平成13年2月24日(土)	平田町若者定住センター「ミューズ」	歌うこと、演じること、そして生きること	倍賞千恵子(女優)

・平成13年度(第21回)文化講演会の開催市町村を募集しています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

第20回文化講演会

日時 平成13年2月24日（土）午後6時30分開演
場所 甲田町若者定住センター「ミューズ」多目的ホール
講師 倍賞 千恵子さん
演題 「歌うこと、演じること、そして生きること」



第20回文化講演会の様子

演題 「歌うこと、演じること、そして生きること」
講師 倍賞 千恵子さん

広島県文化団体連合会の主催による文化講演会は、今年度で、第20回目を迎えました。今回は、「第23回甲田町公民館まつり」と共催し、2月24日（土）に甲田町若者定住センター「ミューズ」の多目的ホールにおいて盛大に開催しました。

朝からの雨で観客の集まりが心配されましたが、昼には雨も上がり、会場は、400人以上の観客でいっぱいとなりました。

映画「男はつらいよ」の「さくら」役で有名な女優 倍賞千恵子さんの

講演は、すてきなお話と歌で綴られ、満員の観客は時の経つのも忘れ聞き入りました。

倍賞千恵子さんの講演の内容は、幼少期から松竹音楽舞踊学校時代、「下町の太陽」で歌手デビューした時、「巫女」で女優としてデビューした時など、その時々における自己の意識や周囲の関係者に対する感謝の気持ちをしっかりとお話されました。

その中で「自分の生きるスタイル」が、とにかく“突っ走るのみ”ということから、現在は“休みながら着実に”というスタイルに変化したというお話にはうなずけるものがありました。

また、映画「男はつらいよ」で長く共演された故渥美清さんとの思い出話の中で、俳優という立場のみならず、人生の先輩として、また、人間として、時には厳しく指導していただき、今でも深く感謝していることを話され、渥美さんを追悼した詩も披露してくださいました。

講演会の最後には、質問の時間もいただき、会場一体となったすばらしい講演会とすることができました。

甲田町公民館まつりの展示発表会・芸能発表会とも大盛況で、このまつりに参加された方、一人ひとりの心の中に「文化のこころ」が花開いたことと思います。

最後になりましたが、第20回文化講演会を開催するにあたりまして、御指導・御鞭撻、御協力を賜りました関係各位にあらためて厚くお礼申し上げます。

（甲田町文化協会 会長 三重清香）



講師 倍賞千恵子さん

平成12年度理事会開催

期 日 平成12年7月20日(祝)

場 所 広島YMCAホール

平成12年度広島県文化団体連合会理事会が、平成12年7月20日(祝)に広島YMCAにおいて開催されました。国利会長、鈴木広島県国民文化祭事務局長のあいさつの後、議事にはいりました。

- 1 会則の改正
- 2 平成11年度事業実施報告及び決算報告
- 3 平成12年度事業計画案及び予算案については異議なく承認されました。
- 4 役員の変更につきましては、地区役員交代ということで後任の方が新役員として選任されました。

報告事項として、新規に加入された「海田町民文化振興会」の紹介と全日本文化団体連合会の社団法人化についての報告がありました。



平成12年度理事会のようす

理事会終了後、第15回国民文化祭・2000の100日前カウントダウンイベントに出席しました。基町クレド・ふれあい広場で開催セレモニー続いて、広島県民文化センターで開催された「未来の風コンサート」に参加しました。



第15回国民文化祭・2000の100日前イベントのようす

第11回(平成12年度)県民文化祭地区大会日程

地区名	大会名称	日時	会場
西部	第11回佐北地区文化交流発表会	平成12年11月19日(日)	佐伯町民ホール
	第11回県民文化祭西部沿岸地区大会	平成13年3月4日(日)	はつかいち文化ホール(さくらびあ)
	第14回江能地区文化団体交流発表会	平成12年7月2日(日)	大柿町中央公民館
賀茂・東広島	第11回県民文化祭賀茂・東広島地区大会	平成13年3月11日(日)	東広島市中央公民館
呉・安芸	第11回県民文化祭呉・安芸地区大会	平成13年3月11日(日)	呉市文化ホール
山県	第11回県民文化祭山県地区大会	平成12年12月3日(日)	加計町立体育館
高田	第11回県民文化祭高田地区大会	平成12年12月17日(日)	甲田町若者定住センター「ミュージズ」
		平成13年1月28日(日)	安浦町民センター
		平成13年2月18日(日)	因島市民会館
尾道	第11回尾道教育事務所管内総合文化祭	平成13年3月11日(日)	伊藤西タウンセンター
		平成13年2月18日(日)	府中市文化センター
福山	第11回県民文化祭福山地区大会	平成13年2月18日(日)	府中市文化センター
備北	第11回県民文化祭備北地区大会	平成13年3月4日(日)	三次市文化会館

平成12年度後援事業

事業名	開催期間	主催者
1 2000年度広島文化デザイン会議	平成12年8月19日(土)～20日(日)	広島文化デザイン会議実行委員会
2 第19回東広島市芸術祭	平成12年6月9日(金)～11日(日)	東広島市芸術祭実行委員会・東広島市文化協会
3 第55回広島県青年大会	平成12年8月27日(日)	広島県青年連合会
4 第33回中国幼年美術夏季大学	平成12年8月25日(金)～26日(土)	中国幼年美術の会
5 ひろしま県民文化フォーラム	平成12年10月25日(水)	(財)広島文化振興基金
6 36回一生流いけばな展	平成13年1月27日(土)～28日(日)	一生流竹原支部
7 第19回大竹児童・生徒書きぞめ大会	平成13年1月21日(日)	大竹市文化協会
8 華道一生流竹原支部いけばな展	平成13年2月24日(土)～25日(日)	華道一生流竹原支部・竹原支部師範会

第15回国民文化祭・ひろしま2000開催状況

呉市文化団体連合会 会長 田尻 一美

呉市では、11月3日～11月12日の間、国民文化祭のいけばな、合唱、バレエ・モダンダンスの3事業が実施され、呉文連は、直接出演・出展した会員はもちろん、51年間の活動のノウハウを提供したり、ボランティアとして参加するなど、組織をあげて協力しました。

また、期間中、呉文連第25回「総合展」（展示部門の総合的な展覧会）を同時開催したことにより相乗効果をもたらし、合わせて6万人近い観客の動員がありました。他に「くれ食の祭典」や入船山記念館の無料開放などもありました。また、会場間を結ぶシャトルバスが運行されるなど賑わいに満ちた2週間でした。

いけばな展会場では、華道部門だけでなくお茶席や邦楽演奏などで呉文連が支援させていただきました。出展されたある会員の「かつてない規模の展示に参加でき、自信が持てた。また、他流派から多くを学び、今後の創作活動に生かしたい。」との言葉に代表されるように、呉文連全ての会員が、事業を成し遂げた自信を持つことができました。



「こどもいけばな教室」のようす



いけばな展のお茶席・邦楽演奏コーナーのようす



歓迎準備のようす

また、参加者を歓迎するために駅から会場までと会場内の案内にミニ鯉のぼりを飾り付けました。これは、7月18日から毎週2回、2時間、延べ450人の会員の協力で大竹の手すき和紙に染料で描き、骨組み、組み立て、「よう来たね大竹へ」等のチラシをつけて580個を完成しました。地元の産品を使い会員手作りの、素朴な作品でしたが、完成した喜びはたとえようのないものでした。かつてないと思うくらい一致協力して取り組むことができたと思っております。この成果を今後の糧として文化協会の活動に生かしていきたいと思っております。

大竹市文化協会 会長 杉野 晃

第15回国民文化祭文芸祭（川柳大会）へ微力ではありますが、協力できたことを感謝しております。11月4日の会場の舞台装置は、会員有志と華道部が協力して、大竹の地名にちなんだ竹を組み合わせ、県の花「紅葉」をいけました。書道部が受賞者の発表と同時にその作品を展示する衝立は細く割った竹を編んで作りました。作句室やその他随所に竹と竹炭で作った花器に生花をいけて、玄関には天井までの竹林を作り、足元に野の花を置いて、自然の美しさを表しま



ミニ鯉のぼりの飾り付けのようす



お茶席(野点)のようす

る中で、文化団体としては多くの来客にくつろいでいただくコーナーを設けることにしました。お茶席(野点)と生花コーナーです。また、平素の活動を皆さんにも体験してもらおうと木彫り、陶芸グループによる実演と体験コーナーも設けました。

一方屋外大ステージでは、県内外の応募者の中からオーディションで選考された町内のアマチュアバンド「フェニックス」が、わが町の文化活動ここにありと頑張ってくれました。これら貴重な体験・経験を通して、わが町の文化活動がより一層発展することを祈念するものです。

大和町文化団体連合会

会長 上田 昭末

第15回国民文化祭・ひろしま2000ポピュラーミュージックフェスティバル「大和のくにのまほろば祭」が、平成12年11月4日、我が町大和町で開催されました。私たち文化団体としては、まず、実行委員会(平成10年10月設立)の一員として先進開催地の視察研修(平成10年11月)を行い他県における文化団体の取り組み状況について学びました。その結果、実行委員会での実施計画立案に参画す



野外ステージのようす



世羅町文化協会のみなさん

世羅町文化協会

会長 金尾 克己

第15回国民文化祭・ひろしま2000「演芸競演会」が、11月5日に世羅町せら文化センターで開催されました。世羅町文化協会では「ミニ喫茶」を開店することになり、ロビー舎外の一部を充て準備万端整えました。当日はロビーに備え付けられたテレビで会場の様子が手に取るように観え、出演者と共に食べたり話したりする多くの観客がありました。この人達に気持ち良い時間と場所を最高度に味わって頂くのが、私たちの役目であったので、

特製のエプロンをかけマナーを大事に活動しました。出演者との記念撮影にも応じたり、同席して地方の話を交したり、ロビーに張られたポスターにわが子の名前があるので記念に3枚も持ち帰る人等、見ているだけでも心なごむ光景が見られました。

会員の賀状にも「国民文化祭の2日間、ミニ喫茶を開店したことは一生忘れられない一コマでした」と寄せて頂きました。「広がる生命 輝く未来」の創造はこの地でも見事に咲きました。



「ミニ喫茶」のようす



「酒と文化の祭典」の会場入口のようす

東広島市文化協会

会長 西谷 宏

第15回国民文化祭・ひろしま2000「酒と文化の祭典」、シンポジウム「文化の原点・マナー」の2事業が、東広島市において開催されました。

地元文化協会と行政とが丸となり総力をあげて取り組み、事業を推進しました。

東広島市は、伝統と歴史に支えられた白壁と赤煉瓦の田園風景の中、きれいな水と高原盆地という自然環境に恵ま

れ、日本酒の産地としてその名を知られています。大学や研究機関の移転により人口も増加し、いろいろな分野にわたって文化の交流が行われています。

国民文化祭を盛り上げるため、文化協会が主体となり、酒を題材とした文芸作品（短歌・俳句・川柳）、写真、書、絵画等を広く募集し、総数500点余りの作品が集まりました。10日間にわたり会場に展示し観覧者の共感を得ることができました。また、11月4日の「酒と文化の祭典」開会式では、イメージソングの「未来の風」を文化協会の呼びかけによる市民約290名で大合唱しました。最終日には酒の題名・歌詞による歌謡大会を開催し、東広島会場を盛り上げました。



イメージソングの合唱のようす



庄原市芸能祭のようす

庄原市文化協会

会長 山脇 和之

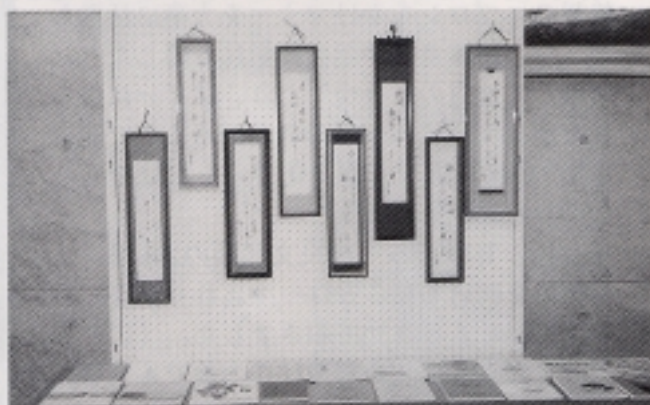
庄原市では、第15回国民文化祭・ひろしま2000シンポジウム「文化と風土」が、11月5日に開催されました。庄原市文化協会は、協賛事業として次のようなことに取り組み、全国から参加された皆さんに庄原の風土と文化を紹介しました。

- ① 総合文芸誌「庄原文芸」28号に「庄原の文化と風土」を特集して発行
- ② 庄原市芸能祭を開催し、郷土芸能「牛供養花田植え」などを紹介

③ 第26回庄原市文芸大会を開催し、庄原市民の短詩型文芸の成果を披露

- ④ 庄原市少年美術館（児童の絵画）、庄原川柳会の作品（短冊）、敷信短歌会（短冊・色紙）、山内短歌会（短冊・色紙）、庄原詩話会（詩誌「かいつぶり」・試作品）、庄原市児童文学の会（機関誌「こどもの四季」）などの作品展示

このほか、倉田百三講演会の開催や百三グッズの販売などで大会を盛り上げました。



作品展示のようす

戸河内町文化協会

会長 石井 憲昭

戸河内町では、第15回国民文化祭・ひろしま2000の「水・緑と人のフェスティバル」が開催されました。メイン事業のひとつとして、かつてこの地方で盛んに操業されていた「たたら」の原形となる古代の鉄づくりが再現されました。

今回の実演にあたって文化協会の「戸河内町郷土史研究会」は、6月から「たたら」の製鉄の研究を始め、3回の座学で戸河内のたたら歴史、たたらしくみ、鉄の流通等を学習しました。その後、現在全国で唯一操業されている島根県横田町の日刀保たたらの見学と戸河内のたたら場跡の調査を行い「たたら」の基礎知識と鉄づくりのイメージを高め、操業の準備にとりかかりました。11月12日午前1時、いよいよ操業がスタートしました。



釜をおとす（こぼす）ところ



ふいご（伊に風をおくる）のようす

午前3時に初めての砂鉄が炉に投入され12時間後、2基の炉で約100kgの砂鉄と300kgの木炭から65kgの鉄を得ることができました。この実演では、1週間にわたる準備から撤収まで、郷土史研究会会員がボランティアスタッフとして参加しました。

たたら製鉄を通して、地域の自然が育ててきた文化を再確認し、次代に残していかななくてはならないものは何なのかを考えさせられました。



「邦楽の祭典」の会場の様子

全国から出演者を迎える緊張感は、当日の感銘深い演奏と出演者同士の交流により解きほぐされ、終了時の満足感の関係者全員の胸に強く刻まれたものと思います。福山市を中心に、新たな伝統文化の発見と交流の輪が大きく広がりました。

また、同日「文芸祭（合同大会）」が開催され、福山文化連盟がボランティアスタッフとして受付、会場の案内をしました。

福山文化連盟

会長 平井 隆夫

第15回国民文化祭・ひろしま2000の「邦楽の祭典」が、11月5日、世界に誇る音楽家宮城道雄のゆかりの地と筆の生産日本一を誇る福山市で開催されました。

開催にあたっては、福山文化連盟も実行委員会の一員として参画し、地元の受け入れ体制を含め、「観客席満席」を目標に協議を重ねました。



「文芸祭」の受付の様子

市町村だより



（三次文化連盟行事 文化探訪バスの走る日）旧江田島海軍兵学校資料館見学の様子

三次文化連盟の活動

三次文化連盟 会長 阿川静明

三次文化連盟の設立は1968年（昭和43年）です。活動内容は芸能・文芸・美術の3部門に分かれています。

芸能の部

戦前より活動しており、3部門中、最も歴史と伝統を持つ尺八（都山流）

を初めとし、芸能部はその傘下に多くの部会派を擁し、その活動は、市民の注目が高く、地方文化の向上に貢献度が高く、先年県文化振興基金の恩典に欲しました。

文芸の部

文芸部門の活動は、戦後まもなく始まりしました。三次高等学校の前身

旧県立三次中学校の卒業生「中村憲吉の研究」がその根源で、街の研究家と三次高等学校の先生方がリーダーとなり、戦後、物資の乏しい生活の中で、紙と鉛筆だけの創作活動にもかかわらず、燎原の火のように広がりました。

この活動より、現在の短歌の各派は生まれたと言っても過言ではありません。三次や庄原地方に憲吉や百三の碑が多く建つゆえんもここにあると思います。

美術の部

美術部門の洋画・書道は、先の芸能・文芸活動より、やや出遅れて始動しました。

しかし、県内の自主的な美術団体集団「青麦美術会」は、1957年（昭和32年）に発足し、県内で最も古い歴史を持っています。

その活動が認められるところとなり、平成2年の秋、文化振興基金を頂きました。

三次文化連盟は、毎年、年間の活動記録を集約した「活動記録集」を発行しており、今年で第12号の発行となりました。

詳しい活動状況については、この「活動記録集」を御覧ください。

今後の課題としては、多くの歴史と文化を背景に持つ「茶道」の参加を得ることです。

三次市に多くの門弟を擁する「茶道」の参加を得ることにより、三次文化連盟の活動が、より文化の薫り高いものとなることを願っています。

河内町文化協会の活動

河内町文化協会 会長 岡 光治



小田神楽保存会のみなさん

当文化協会は、昭和61年に設立して以来、毎年11月3日の文化の日に文化協会の加入団体が一堂に会して文化祭を開催しています。

現在47の加入団体があり、延べ300名余りの会員で活動を行っています。

今年度の文化祭は15周年の記念行事として位置付け、実施しました。

平素は地域で文化活動の担い手として様々な場で活躍をしている会員の方々の積極的な参加によって、民謡や大正琴、舞踊、カラオケなどの芸能発表（ステージ発表）と書道や陶芸、生

花などの作品の展示（作品展示）を中心に行い町外の他団体からのゲスト出演（森川流締太鼓鼓扇会、子どもによる舞踊、歌謡）など会員のみにとどまらず、数多くの住民の方に観覧をしていただくことができました。

更に今回は、町の無形文化財の指定を受けた「小田神楽保存会（昭和49年指定）」と「宇山民謡保存会（昭和50年指定）」の2団体に、多年にわたる功績をたたえ町から表彰状が送られました。

今回の記念行事を契機にして、協会活動の活力とすることができ、また町の文化活動の活性化につなげることが少しでもできたのではないかと思います。

今後も会員のより一層の取り組みにより、ますます当協会が活躍できるよう努力したいと考えております。



「宇山民謡保存会」の受賞の様子



文化祭芸能発表会の会場の様子

広島県地域文化功労者表彰



平成12年度広島県地域文化功労者のみなさん（中央は穂田広島県知事）

地域において長年にわたり地道な活動を通じて功労があった個人や団体を表彰する、平成12年度広島県地域文化功労者表彰が平成13年2月15日に行われ、当連合会の国利会長及び次の方々が受賞されました。

【個人の部】

国利義勇（89歳） 庄原市 広島県文化団体連合会会長

昭和45年、庄原市文化協会の設立に尽力したのをはじめ、県内唯一の総合的文化団体である広島県文化団体連合会の設立にも中心的役割を担い、平成7年5月からは会長として地域文化の振興に寄与してきました。

広島県文化団体連合会においては、設立当初27団体で発足した当連合会を加盟78団体を数える組織にまで育成・発展させるとともに、県民文化祭の開催に第1回から参画し、県民の文化活動への参加機会拡充を図るほか国民文化祭に向けての機運醸成にも努めました。

平成12年11月に開催された「第15回国民文化祭・ひろしま2000」においては、県実行委員会副会長としてこの祭典の運営に尽力しました。また、地域文化の大切な担い手であるとの観点から、児童の文芸誌の発行など青少年育成についても熱心に取り組んでいます。

福盛智子（56歳） 広島市 生田流箏曲・地唄演奏家、日本音楽著作権協会会員、広島邦楽連盟会長
河崎洋二（59歳） 福山市 （財）福山市体育協会専務理事、元福山市水呑学区体育会会長



国利会長の受賞のようす

【団体の部】

広島県合唱連盟 代表者 山本定男理事長
広島市 昭和37年設立 活動歴38年 加盟団体数115団体

平成12年11月に開催された「第15回国民文化祭・ひろしま2000」における主要イベントである「オープニング記念イベント」、「開会式・オープニングフェスティバル」の合同合唱では、役員、会員が中心となって素晴らしい合唱を披露するとともに、「合唱の祭典」では企画・運営の中心的役割を担うなど、この祭典の成功に大きく貢献されました。

広島県地域文化功労者表彰

氏名	功績
山田 太郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
佐藤 花子	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
田中 一郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
鈴木 健二	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
高橋 三枝	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
中村 四郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
小林 五郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
伊藤 六郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
渡辺 七郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
松本 八郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山崎 九郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
村上 十郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
石川 十一郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
斎藤 十二郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山本 十三郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
中野 十四郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山崎 十五郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
村上 十六郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
石川 十七郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
斎藤 十八郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山本 十九郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
中野 二十郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山崎 二十一郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
村上 二十二郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
石川 二十三郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
斎藤 二十四郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山本 二十五郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
中野 二十六郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
山崎 二十七郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
村上 二十八郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
石川 二十九郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。
斎藤 三十郎	広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した。

功労者表彰の意義
功労者表彰は、広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した方々を表彰し、その功績を顕彰することを目的とする。功労者表彰は、広島県民文化センターの運営に貢献し、地域文化の振興に尽力した方々を表彰し、その功績を顕彰することを目的とする。